

科目	特別活動	担当	田中 信幸	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

教育課程における特別活動の意義や内容について、歴史的変遷も踏まえながら学修する。また、教育の今日的な課題に対応するために特別活動が果たすべき役割について理解する。さらに、「なすことによって学ぶ」という特別活動の特質を具現化するために、教師として果たすべき指導・支援の在り方について考察する。到達目標は、教育課程における特別活動の位置付けを理解し、各種活動の計画立案及び実施ができるようになることである。

【履修注意】

教職課程を履修している学生だけを対象とする。

全出席を原則とする。欠席が5回以上の場合は、単位を認めない。また、遅刻2回で欠席1回とする。

学修内容が多岐にわたるので、毎時間の講義内容を整理し、学習事項の理解に努める。また、日頃から特別活動に関連するさまざまな情報を積極的に収集し、活用する。ノートを用意し、講義の整理と理解に努めることが望ましい。

【評価方法】

定期試験、小論文、提出物、体験発表、授業への参加意欲により総合的に評価する。

【試験について】

定期試験は筆記試験を行う。

再試験対象者の条件： 不合格者のうち、課題レポートがすべて提出され、筆記試験が40点以上の者

【予習・復習】

2単位科目は90分の授業に対して90分の家庭学習(予習、復習)が必要である。授業時に家庭学習の内容について指示する。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

中学校学習指導要領解説 特別活動編 著者： 文部科学省 出版社： ぎょうせい

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	特別活動を学ぶにあたって	教育課程と特別活動 特別活動の変遷 「なすことによって学ぶ」
2	特別活動の基本的性格と意義	望ましい集団活動 体験的活動 人間形成
3	体験発表Ⅰ	「心に残る特別活動」 体験発表第1回
4	特別活動と生徒指導	ガイダンス機能の充実 相談活動 教師・生徒の信頼関係
5	学級活動の内容と特質	学級・学校生活づくり 学業と進路 集団の一員としての在り方
6	生徒会活動の内容と特質	異年齢集団 人間関係の広がり 自治的能力と責任感
7	体験発表Ⅱ	「心に残る特別活動」 体験発表第2回
8	学校行事の内容と特質Ⅰ	儀式的行事 文化的行事 健康安全・体育的行事
9	学校行事の内容と特質Ⅱ	旅行・集団宿泊の行事 勤労生産・奉仕的行事
10	特別活動と総合的な学習の時間	問題解決能力 探究活動 自然体験活動 職場体験活動
11	体験発表Ⅲ	「心に残る特別活動」 体験発表第3回
12	特別活動とボランティア活動	学校内活動 学校外活動 社会貢献と自己実現
13	特別活動と部活動	部活道の意義 教育課程との関連 生徒会活動と部活動
14	特別活動の指導計画作成	中学校修学旅行の指導計画作成・発表・討議
15	特別活動の取扱いと評価	配慮事項 積極的評価 活動意欲の喚起 PDCAサイクル
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ